

【シート8】災害に備えた事前対策の一例（スキーム図）

守るべきもの

- 来館者（来園者）、館内業務従事者、地域住民
- 博物館資料（展示資料及び収蔵資料）
- 施設・設備
- 博物館の信用

災害想定及びPDCAサイクル（リスクの把握と評価）

- 災害事例や地域特性の把握
- 博物館が抱えるリスクの洗い出し
- リスク評価
- 被害シナリオ作成
- リスク対応方針検討

地域防災計画との調整

防火管理者及びその権限、業務、防火管理組織
防災管理義務のある建築物の場合、防火管理者と防火管理組織が加わる。

各災害に共通する予防的事項

- 予防的活動に係る組織体制
- 自主チェックに係る組織体制
- 記録に係る事項
- 休日・夜間等の対応に係る事項
- 工事中の安全対策に係る事項
- 定員管理に係る事項

自衛消防の組織（自衛消防隊、自衛消防組織等）
「自衛消防組織」は防災管理義務のある建築物に設置

組織の編成

組織の運用体制

各班の任務

- 勤務時間外の緊急参集基準
- 緊急連絡網

指揮命令体系

組織の装備

地域や他館、
専門的組織との連携

外部関係者の
役割・連絡先

立地・施設の検証、
建物・設備・敷地点検

- 災害に関する
立地・施設の検証
- 建物・設備・敷地点検

来館者等への対応方針の決定

- 臨時閉館（臨時休館）、避難の基準
- 救出救護、応急救護
- 災害時要援護者への対応
- 避難誘導の体制作りと避難経路確保
- チケットの取扱いに関する対応
- 帰宅困難者や地域被災住民の受入れ

博物館資料への対応方針の決定

- 守るべき資料の把握と優先順位設定
- 資料の保護を想定した検討・対策
- 収蔵資料の登録、
データベースの管理、副本の作成

インフラ等機能不全への対策

- 停電への対策
- ガスの供給停止への対策
- 断水への対策
- 通信障害への対策
- 交通障害への対策

災害時における博物館の
社会的役割の把握

- 地域に存在する被災文化財等の保全活動

災害別の事前対策

地震対策

- 地震発生時の火災への対策
- 避難への対策
- 避難施設・建物損壊への対策
- 收容物等の転倒・移動・落下防止
- 地震の対応に特有の設備等の設置、
物資の確保

火災対策

- 火気管理等
出火防止対策
- 危険物等の管理
- 避難施設・防火上の
構造等の管理

水害対策

- 施設、資機材等
に関する対策
- 博物館資料
に関する対策

強風対策

- 施設に関する
対策
- 屋外の
博物館資料等に
関する対策

落雷対策

- 雷サージ対策
- 屋外展示中止の
基準設定、
来館者避難場所
の確保

情報発信体制の整備

業務継続計画

教育訓練

- 管理権原者の教育
- 防火管理者の教育
- 自衛消防の組織に係る構成員の教育
- 訓練の実施
- 危機管理マニュアルの館内周知
防災管理義務のある建築物の場合、
防火管理者の教育が加わる。

資機材・物資の確保と定期的点検

保険の加入